

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.356
令和3(2021)年2月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第12回

宮本 輝 (みやもと・てる)
小説家



1947年神戸市生まれ。
小学生時代の一時期を両親と離れて尼崎市で過ごし、市立難波小学校へ通う。
大阪追手門学院大学文学部卒業。広告代理店などでの勤務を経て、1977年『泥の河』で第13回太宰治賞を受賞し、デビュー。翌年には、『螢川』が第78回芥川賞を受賞。この翌年、肺結核の診断を受けて約2年間の療養生活を送る。回復後から今日まで、数々の作品を執筆し、映画化された著作も多数。
2010年、紫綬褒章受章。
37年にわたって執筆された長編連作「流転の海」シリーズは、2018年に完結した。

作品紹介



「花の回廊 流転の海 第五部」 新潮社 2007年発行

著者自身の父をモデルとした主人公、松坂熊吾の半生を描いた長編連作。
戦後、大阪の焼け跡から裸一貫で再起を図っていた熊吾は、50歳にして子宝を授かる。息子・伸仁を溺愛し、再出発の前途も拓けていくように思えたのだが…。
「第5部」は、尼崎に住む叔母に預けられた10歳の伸仁が凄惨な人間関係に巻き込まれていく様相や、駐車場運営に乗り出した熊吾が奔走する様が描かれます。

結果発表

ビブリオバトル尼崎 天下統一への戦い 令和3年初戦開催!!

テーマ「全国の人に紹介したい本」

『彼らは世界にはなればなれに立っている』 太田 愛／著

『平場の月』 朝倉 かすみ／著

『罪の声』 塩田 武士／著

『障害者表記問題の基礎』 鈴見咲 君高／著

『えんとつ町のプペル』 にしの あきひろ／著

優勝者チャンプ本は『彼らは世界にはなればなれに立っている』に決定しました。
全国大会予選会でのご活躍をお祈りします！

ビブリオバトルとは本の紹介コミュニケーションゲーム。各発表者(バトラー)が5分間の持ち時間内に自分のお薦めする本について熱く語り、最後に観覧者が「どの本が一番読みたくなったか」を基準にチャンプ本を決めます。1月9日(土)、中央図書館で「天下統一への戦い」を開催し、今回の優勝者は全国大会の予選会への出場権を獲得されました。

Youtubeで2020年10月に実施した「ビブリオバトル秋の陣」を公開中！
今回のイベントの様相も近日公開予定です。

◆公開のアドレスはこちら→ <https://www.youtube.com/watch?v=W49dhS3ILZ0>



第164回 芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました！

芥川賞 宇佐美 りん(うさみ りん)

『推し、燃ゆ(おし、もゆ)』

直木賞 西條 奈加(さいじょう なか)

『心淋し川(うらさびしがわ)』

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本 数珠つなぎ

第11回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。
山口 宗久さん(ジャーナリスト)から推薦された次の方は…



小野 隆二さん(自動車整備会社経営)

『イーロン・マスクの世紀』

兼松 雄一郎／著(日本経済新聞出版社 2018年刊)



私は元々普通と言う事が嫌いで、秩序の破壊者と言われたイーロン・マスク氏の考え方に共感していて、色々彼の本を読みました。
どうしても彼に会いたくなり、8年前アメリカのテスラ本社まで行き、今では彼のテスラ社の仕事をできるようになり人生が変わりました。

次回は、会社経営者で日本糖尿病協会専務理事の高本 誠介さんです。

レファレンス室から

～新刊紹介～



『数学パズル大図鑑』

木村 直之／編 小谷 義行／監修
(ニュートンプレス) 2020年11月発行

計算を使って解くもの、図形の並べかえ、数千年前に作られた文章題や古くから親しまれている数あそびなどのさまざまな数学パズルや、パラドックス・数学的なテーマ・日常にひそむ数の謎解きなど、数にまつわるコラムを多数収録。解く楽しみと知る楽しみを味わえる図鑑です。

この資料は3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では、調べもののお手伝いをします。
遠慮なく声をかけてください。

こんな質問がありました！

「どら焼き」の起源を知りたい。



『たべもの語源辞典』(東京堂出版)によると、鎌倉前期、源義経が奥州に逃れた際、手傷を負った弁慶が療養した民家に残した銅鑪で焼いた菓子が「どら焼き」の伝説的起源のようです。ほか、江戸前期の餅屋「助惣」で売られた麩に餡を包んで焼いたものがどら焼きの起源となった説、『たべもの起源事典(東京堂出版)』には、それに加えて、形が船のどらに似ているとする説についても述べられています。『事典 和菓子の世界』(岩波書店)、『日本銘菓事典』(東京堂出版)、『47都道府県・和菓子／郷土菓子百科』(丸善出版)などにも、どら焼きの起源・材料・製法などの変遷についての記述がありました。

東日本大震災から10年

～振り返る2011.3.11～

常設ミニ展示

東日本大震災が発生してから、2021年3月で丸10年になります。尼崎市立中央図書館では、震災を振り返り、伝え続けるため、尼崎市が震災発生直後から10年に渡り支援を続けてきた宮城県気仙沼市の震災の写真や、図書館が所蔵する東日本大震災に関する資料を展示します。

期間：1月28日(金)～3月24日(水) 場所：2階 エントランス



こんな本 入りました

～ 一般室の本棚から ～

『渋沢栄一伝』

幸田 露伴／著 (岩波書店)



文豪・幸田露伴が手がけた「日本資本主義の父」渋沢栄一の伝記。幕末から近代、と激動の時代を一心不乱に生きた青年の姿が描き出されます。2021年大河の主人公の魅力を知ることができる名作。

『古典で旅する茶の湯八〇〇年史』

竹本 千鶴／著 (淡交社)



日本人に無くてはならない飲み物、お茶。茶の湯を知る上で欠かせない24冊の古典と、それらに関わる歴史上の人物をガイド役に、茶の湯の歴史800年を駆け抜ける1冊です。

2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

開館時間 **9:00～20:00**

※ 印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

2月2日(火)に予定していた朗読の会 おはなし玉手箱は中止いたします。

※次回は、3月2日(火)を予定しています。



◆おはなしの会

14:10～14:25

子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50

4歳くらい～小学生



●コアラくらぶ

11:00～11:20 0～3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより「本と友だち」をご覧ください

感染拡大防止対策にご協力ください。

図書館では、感染拡大防止に努めながら図書サービスを実施しています。

また、緊急事態宣言解除までの間、中央図書館で予定していた主催行事は中止しています。

ご利用に際しましては、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ◆ 発熱または風邪の症状がある方は、来館をご遠慮ください。
- ◆ 来館の際にはマスクを着用し、咳エチケットの徹底と手指の消毒をお願いします。
- ◆ ご用がお済みになり次第、ご帰宅をお願いします。
- ◆ 館内で食事はできません。
- ◆ 館内の滞在人数が一定数を超えた場合は、入場制限を行うことがあります。

担当者のつばやき

少しずつ暗くなる時間が遅くなってきて、まだまだ寒いとはいえ春の気配を感じています。再度の緊急事態宣言で外出は自粛していますが、せめて近所の公園の散歩でもして春を探そうかな、と思います。(H.S)



3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			